

5 領域（健康・生活）とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービスcorekids

●項目	●ねらい
健康・生活	①健康状態の維持・改善 ②生活リズムや生活習慣の形成 ③基本的生活スキルの獲得
●具体的な支援内容 健康状態の把握 利用中における定めた時刻での定期的な検温にて体調管理を行い、体調不良時の把握をいち早く行う。 健康の増進 集団活動においてこども整体やラジオ体操を取り入れ、身体のバランスや体力の維持及び運動能力の向上を支援する。また、健康生活の基本となる体づくりを行う。 基本生活スキルの獲得 個別活動の中で、整理整頓（片づけ）の習慣をつけるための時間を確保する。身の回りを整理して、効率の良い生活を送るために必要な基本的技能を獲得できるよう支援を行う。 構造化により生活環境を整える 個別活動および集団活動の中で、様々な遊びを通して全体の状況や流れを学習できる環境を整える支援を行う。また、障がい特性に合わせ、タイミングや状況（全体像）を本人が理解出来るよう「見える化」するなどわかりやすく構造化する。	

5領域（運動・感覚）とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービスcorekids

●項目	●ねらい
運動・感覚	①姿勢と運動・動作の向上 ②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 ③保有する感覚の総合的な活用
●具体的な支援内容 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動動作の改善および習得、筋力の維持・強化を図る。個別活動の中で、椅子や机を用いた支援において正しい姿勢の習得。 感覚の補助及び代行手段の活用 保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすいようにメガネや補聴器を安全に効果的に活用できるよう支援を行う。保有する 感覚の活用 保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう、遊具や器具などを通して支援を行う。縄跳びを使ったタイミングの感覚やバランスの感覚、ボールを使った体の動かし方や強弱の力感覚、方向感覚の習得。楽しく運動ができるよう、状況（屋内・屋外・広さ・安全の確保）に合わせた道具や方法を用いて支援を行う。	